

すずらん通信

Vol.18
平成29年
9月13日
発行

いざ江ノ島へ

7月13日、梅雨とは思えない晴天の日が続いている中、私たち5名は、いざ江ノ島へ向かいました。

みんなの事を考えて、集合時間や電車の時間など余裕をもって計画を立てたはずでしたが、昼食の場所をきちんと確認しなかった中村のおかげで30分も歩くことになり、やっと食事をする場所にたどり着きました。(次回は、きちんと確認します)美味しい物を食べたおかげで、元気を取り戻し、江ノ島の展望台へ行きました。その日は強風だったにも関わらず、最上段にある屋外の展望スペースまで行き、強風のなか景色を見渡していました。展望台から降りる時、外にあるらせん階段で強風に飛ばされそうになるスリルを味わいながら降りてくる子もいれば、エレベーターでスーッと降りて来る子もいました。みんな、まちまちですね!その後、休憩場所で、30分余分に皆を歩かせてしまったお詫びにアイスなどをおごりました。今日1日の中でとってもいい顔をして食べていました。本当に、お疲れ様でした。

(中村 鳴美)



相模原不登校相談会

9月3日、夏休みも終わり、新学期が始まってすぐに不登校相談会が行われました。今年は、31組・48名・55件の相談がありました。去年に比べると来場された方は少なくなりましたが、不登校の子ど

もの数は高止まりしているのが現状です。今回の相談では、フリースクールを活用しながら学校も塾も習い事も並行して進めて良いのだということが分かったと言って帰られるご家族が多い印象でした。現状では、フリースクールをどうやって利用したらいいのかわからないという方もいるかと思います。まずは、フリースクールを知ってもらわないといけないということで、公的な場所での告知がもっとも必要になってくるのではないかと、いつもいつも思います。(中村 鳴美)

親の会を行いました

8月6日、当日5名の保護者の参加のもと、心理カウンセラーの先生をお招きして、エンカウンター式の親の会を行いました。まずは、自己紹介をしながら先生のアドバイスを頂き、その後、質問事項に先生が答えるという形式です。挙げられた質問の一部をご紹介します。

「やる気がない生活を見守っていいのか、何かをやらせた方がいいのか?」・・・

先生の回答…「タイミングをみて将来について話し合ってみるのはどうか。時系列で説明して「どうする?」と考えていけるようにする。時間は、相手が完成していなくても終わりがくるので、しっかりと考えていけるようなヒントを与えるとよい。自分の人生を自分で生きていけるようにするために話し合っていくことが大切なのではないか。ただ見守るだけではなく、そこを紐解いていかなければいけない。」

カウンセラーの先生、力強いアドバイスをありがとうございました。また、保護者の皆さん、ご参加ありがとうございました。(中村 鳴美)

中村のちょっと感動した話

9月9日、県立青少年センターにてフリ・フリ・フェスタが行われました。当日は天気にも恵まれ、子どもたちも店番に買い物にと大盛り上がりでした。今年は、昨年に高校進学に伴い卒業していった生徒がボランティアとして参加してくれました。昨年まで支援を受ける側だったのに、1年間で立派に成長して子どもたちの面倒を見てくれました。



鈴蘭学園のブースの様子です。

ありがとう！ 頑張ってるね！

10月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1 鈴蘭説明会	2	3 開園日	4 開園日	5 開園日	6 開園日	7 面談受付
8	9	10 開園日	11 開園日	12 開園日	13 開園日	14 電話相談 面談受付
15	16	17 開園日	18 開園日	19 開園日	20 開園日	21 面談受付
22	23	24 開園日	25 開園日	26 開園日	27 開園日	28 電話相談 面談受付
29 電話相談 鈴蘭説明会	30	31 開園日	1	2	3	4

お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。
まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル TEL : 042-733-0015

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。